

2014年9月期第3四半期決算

2014年7月28日

MRI 株式会社三菱総合研究所

1. 2014年9月期第3四半期決算と業績予想

2. 参考資料

第3四半期(10~6月)のまとめ

売上高: 678億円 前同比+46億円(+7.4%)

- 官公庁・金融向け売上伸長

営業利益: 51億円 前同比+2億円(+6.0%)

- 増収に伴い、販管費増加をカバーし、増益

純利益: 29億円 前同比+3億円(+11.7%)

3Q決算・受注は順調に推移

- 計画を上回る進捗も販管費増(先行支出)を見込み、通期予想据え置き
- 今期売上計画分の受注はほぼ確保。来期に向けた受注も順調

第3四半期連結決算 <前年同期比>

(百万円)

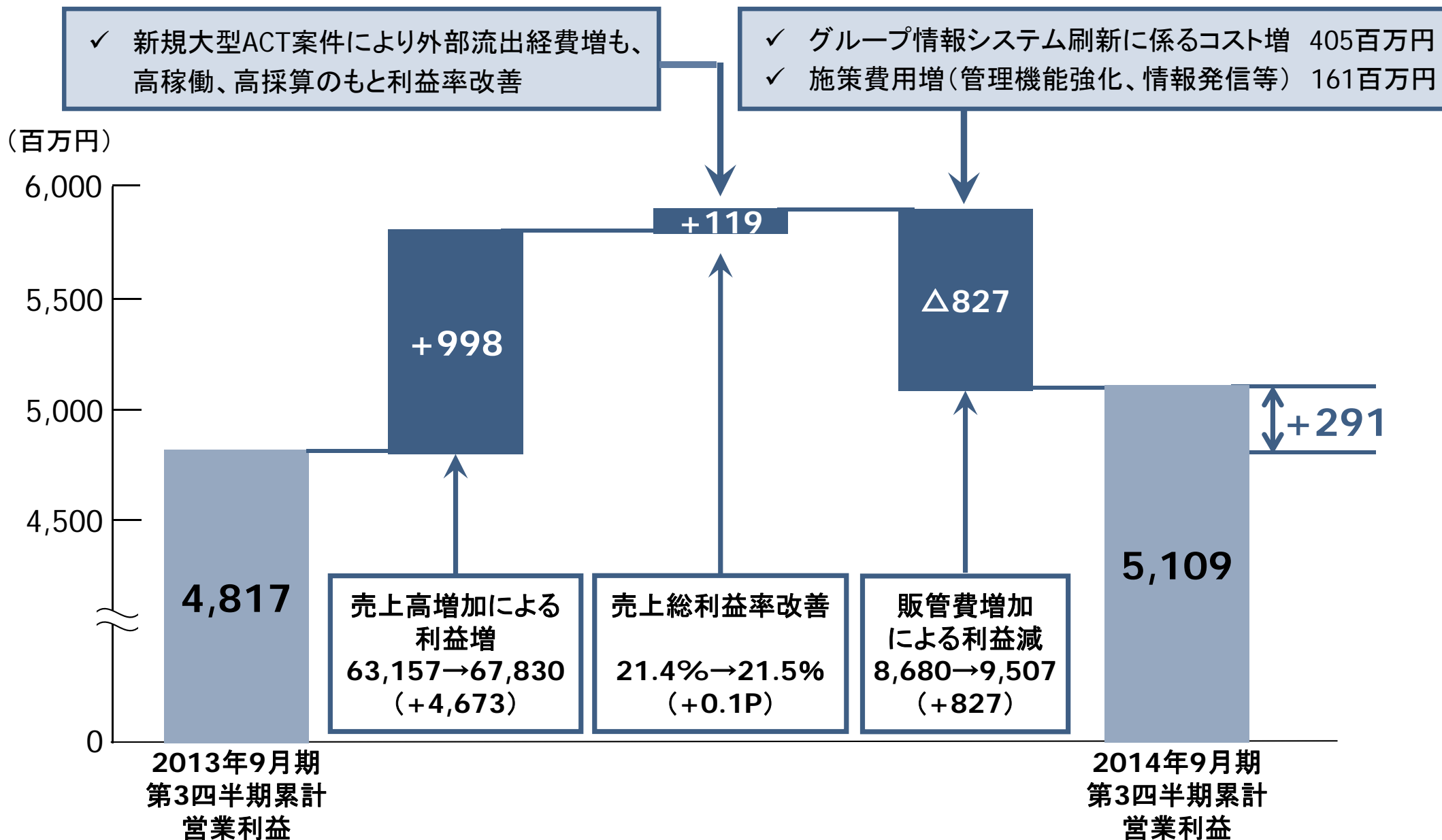
	2013年9月期 3Q累計 (10~6月) ①	2014年9月期 3Q累計 (10~6月) ②	前年同期比	
			増減額 ②-①	増減率
売上高	63,157	67,830	+4,673	+7.4%
売上原価	49,658	53,213	+3,555	+7.2%
売上総利益	13,498	14,616	+1,118	+8.3%
売上総利益率	21.4%	21.5%	+0.1P	
販売費及び一般管理費	8,680	9,507	+827	+9.5%
営業利益	4,817	5,109	+291	+6.0%
営業利益率	7.6%	7.5%	△0.1P	

●売上高の顧客業種別内訳・対前年同期比増減理由

(百万円)

	前3Q	当3Q	増減額	増減率	増減理由
官公庁	16,620	19,072	+2,451	+14.7%	大型案件増加
金融・カード	26,396	29,594	+3,198	+12.1%	金融機関向けシステム開発、アウトソーシングサービスの売上増加
一般産業	20,139	19,163	△975	△4.8%	前3Qのシステム開発案件の反動減

営業利益の変動要因 <前年同期比>



第3四半期連結決算 <前年同期比>

(百万円)

	2013年9月期 3Q累計 (10~6月) ①	2014年9月期 3Q累計 (10~6月) ②	前年同期比	
			増減額 ②-①	増減率
営業利益	4,817	5,109	+291	+6.0%
営業外損益	187	319	+131	+70.3%
経常利益	5,005	5,428	+423	+8.5%
特別損益	8	△23	△31	—
税金等調整前四半期純利益	5,013	5,405	+391	+7.8%
法人税等	2,038	2,131	+92	+4.5%
少数株主利益	327	317	△10	△3.2%
四半期純利益	2,647	2,956	+309	+11.7%
1株当たり四半期純利益(円)	161.18	180.04	+18.86	+11.7%

シンクタンク・コンサルティング事業

(百万円)

	2013年9月期 3Q累計 (10~6月)	2014年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	18,282	21,198	+2,915	+15.9%
営業利益	2,268	2,481	+213	+9.4%
営業利益率	12.4%	11.7%	△0.7P	
受注高	17,873	20,523	+2,649	+14.8%
受注残高	14,874	17,993	+3,119	+21.0%

主なポイント

- 官公庁向け大型政策執行支援案件により大幅増収
- 増収効果、稼働向上により、大型案件による外部流出経費増や販管費増をカバーし増益
- 今期売上分受注はほぼ確保。来期売上予定の案件も出足良し
- 計画比： 4~6月は消費増税前の売上早期化の反動減も、稼働落ちず利益は期初計画を上回る

ITソリューション事業

(百万円)

	2013年9月期 3Q累計 (10~6月)	2014年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	44,874	46,632	+1,757	+3.9%
営業利益	2,626	2,682	+55	+2.1%
営業利益率	5.9%	5.8%	△0.1P	
受注高	45,214	48,398	+3,183	+7.0%
受注残高	41,404	43,463	+2,058	+5.0%

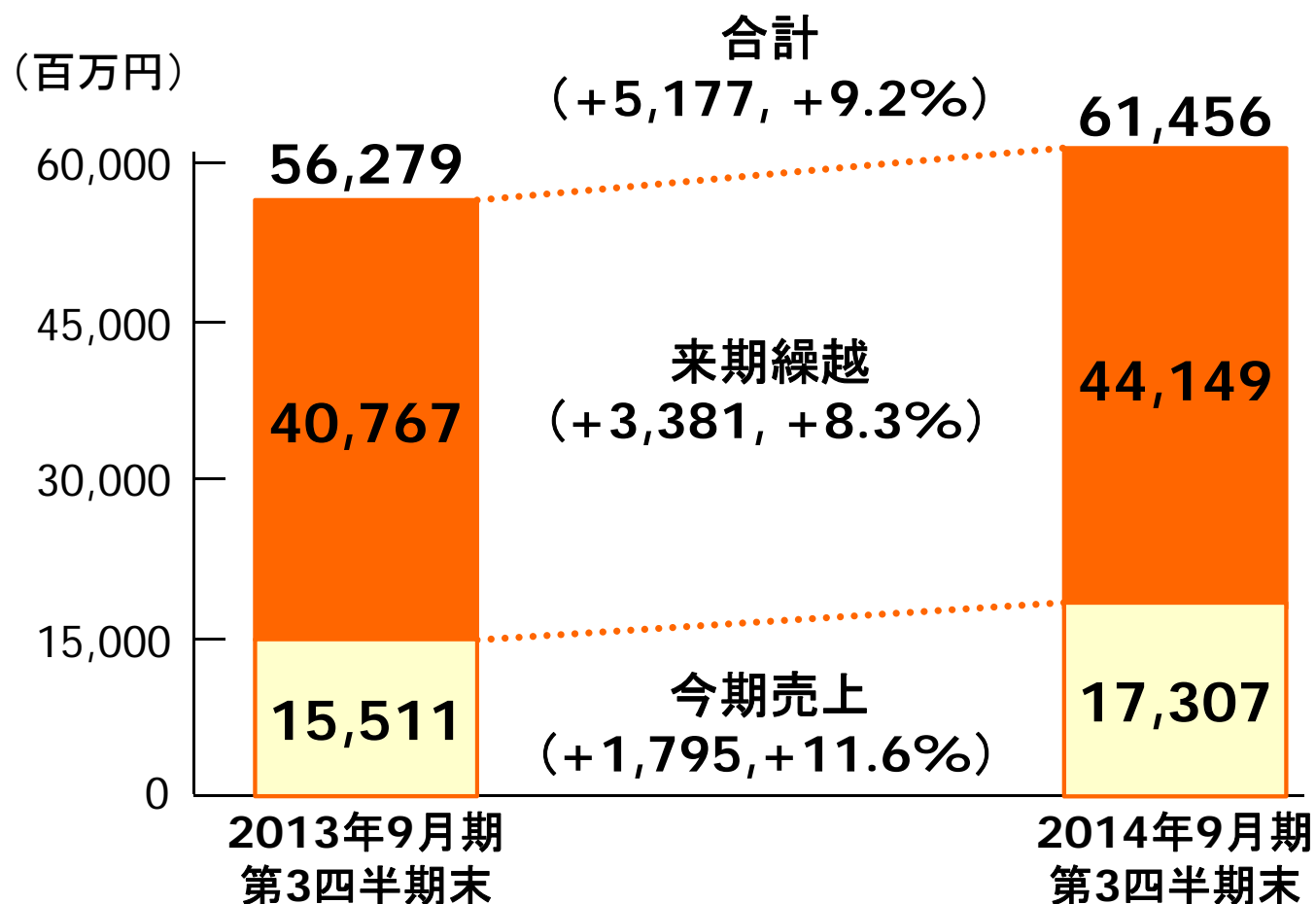
主なポイント

- 金融業向けシステム開発案件、アウトソーシングサービスの増加により、増収
- 増収効果、高採算案件により、販管費増をカバーし、増益
- カード、その他金融機関向け案件堅調。受注高、受注残高とも前同比増加
- 計画比： 子会社三菱総研DCS好調につき、売上、利益とも期初計画を上回って進捗

受注残高 <前年同期末比>

今期売上計画分の受注はほぼ確保。来期に向けた受注も順調

- 環境・エネルギー、放送・通信分野の調査・コンサルティング、金融・カード向けソリューションが堅調



2014年9月期 連結業績予想

前回(2013/10/31)予想から修正なし

計画を上回る進捗も情報システム刷新支出増を見込み、通期据え置き

(百万円)

	2013年9月期 実績 ①	2014年9月期 (予想) ②	前期比	
			増減額 ②-①	増減率
売上高	81,127	86,800	+5,672	+7.0%
シンクタンク・コンサルティング事業	21,038	24,700	+3,661	+17.4%
ITソリューション事業	60,088	62,100	+2,011	+3.3%
営業利益	5,370	5,500	+129	+2.4%
営業利益率	6.6%	6.3%	△0.3P	
経常利益	5,566	5,650	+83	+1.5%
当期純利益	2,885	2,940	+54	+1.9%
1株当たり当期純利益(円)	175.67	179.01	+3.34	+1.9%

1. 2014年9月期第3四半期決算と業績予想

2. 参考資料

プレスリリース

「データセンターマッチングサービス(MIRSE)」スタート

2014. 5. 7

- BCP・データセンター選定支援経験を活かした、MRI独自のWEBサービスを開始
- 全国のデータセンターをスペック・条件を指定して一括検索、横並びで比較可能。データセンター事業者とのマッチングまでをワンストップで提供

「アプリケーション資産可視化事業」アクセス社と業務提携

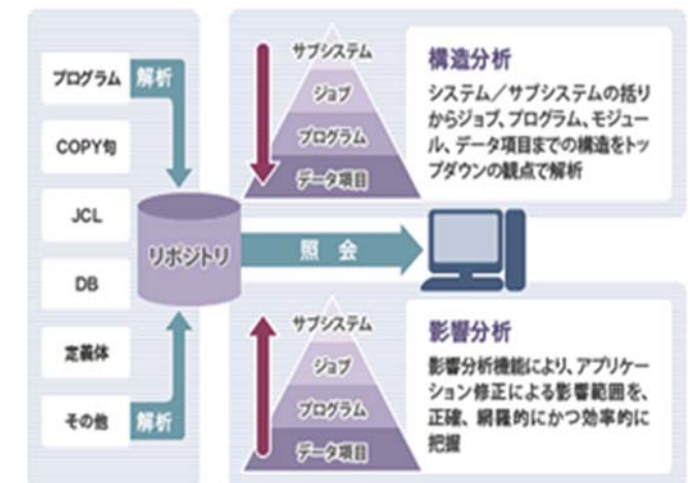
2014. 5. 12

- MRIの課題解決・コンサルティング力×アクセス社のリバースエンジニアリング技術
- 情報システムを「見える化」し、お客様の保守・運用コスト低減・品質向上を支援
- 金融機関等採用実績多数

可視化できれば
システムを構造化できる
・プログラムロジックの紐付け
・ファイルやDBのデータ項目の紐付け
等

- 影響調査がスピーディにできる！
- テスト範囲が正確に把握できる！
- 修正ポイントの妥当性評価ができる！
- ドキュメントコンテンツが常に最新！（自動更新）
- 特定スキルに依存しなくなる！

リバースエンジニアリング技術による構造化と影響分析



資料：三菱総合研究所

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経理財務部 IR室

TEL : 03-6705-6001
FAX : 03-5157-2171
E-mail : ir-info@mri.co.jp
URL : <http://www.mri.co.jp/>